



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 IV・V 】
2 実践対象者	白石市立大平小学校 1～6年生 103名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名 (総合的な学習の時間・生活科)</p> <p>②行事名 ()</p> <p>③その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>①イベント名 ()</p> <p>②その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックに参加する国の文化や歴史等を知ること、国際教育の充実を図り、豊かな心の育成を推進する。 ・オリンピック競技選手と児童の直接的な交流を通し、オリンピックとスポーツに興味・関心をもたせる。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習</p> <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベラルーシについて調べ、交流会の準備をする。 (応援旗の作成、日本の昔遊びの準備) <p>【4・5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちつき体験やもち試食会のためのもち米を準備する。 <p>(2) 当日</p> <p>①始めの会</p> <p>②ベラルーシ新体操チームによる種目紹介、児童の体験</p> <p>③伝統文化体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こま、竹とんぼ、けん玉、お手玉での遊び方を紹介し、体験してもらう ・もちをついてもらい、準備してあるもちを試食してもらう <p>④応援・プレゼント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生以上でソーラン節を踊り、最後に手作りの応援旗をプレゼントする。

	<p style="text-align: center;">⑤終わりの会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>交流をもったことで、国際交流に対する意欲が高まった様子が児童の感想文から感じられた。選手を身近に感じることができたため、オリンピックへの関心も高まっている。東京オリンピックでの新体操以外の種目や活躍が期待される日本の選手を調べようとする児童も見られた。</p> <p>【児童の感想文から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 mあるリボンを投げたり取ったりしていて、さすがオリンピック選手だなと思いました。実際に見ることができてよかったです。 ・ 3年後のオリンピックではベラルーシの選手も応援したいです。そして、もっとたくさんの選手を応援できるように調べたいと思いました。 ・ 私たちからのおもてなしで、昔遊びを楽しそうにやっていたのでよかったです。ソーラン節も思いが伝わったと思います。 ・ オリンピックではこれ以上のものが見れると思うと行きたくなりました。
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>東京オリンピックでも活躍が期待され、白石市で合宿を行っていたベラルーシ新体操チームへ交流をお願いした。教育委員会や市役所の方々に協力いただき、交流会を設定することができた。</p> <p>交流会では、日本の文化に触れさせる機会を設けた。昔遊びやソーラン節の紹介を通して、国際的な交流ができるよう工夫した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>学校で行われている教育活動と関連付けることが難しかった。さらに、交流が決まってから様々なことに取り組み始めたので、見通しをもって推進することができなかつた。年度当初に年間の計画を立てる必要があると考える。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>ベラルーシ新体操チームの来年度の合宿や国際大会の結果などを知る機会を設け、応援し続ける姿を目指していきたい。さらに、新体操だけではなく、オリンピック・パラリンピックの様々な種目、出場国にも関心を広げていきたい。</p>